

NPhA

Vol. 72

Exclusive Interview

特別対談

特定行為に係る看護師の 研修制度を推進、その先に 新制度創設を目指す

公益社団法人 日本看護協会

会長 福井 トシ子氏

一般社団法人 日本保険薬局協会

会長 首藤 正一氏

Round Table Discussion

座談会「1年を迎える認定薬局制度の成果と課題」

制度定着には診療報酬での 位置付けが不可欠

株式会社メディカルシステムネットワーク

代表取締役副社長 田中 義寛氏

株式会社アピスファーマシー

代表取締役社長 川越 美香氏

アポクリート株式会社

代表取締役社長 金本 鎮久氏

株式会社共栄堂

代表取締役社長 永田 浩史氏

トライアドジャパン株式会社

代表取締役 石本 裕一氏

Investigation

NPhA「調剤報酬等に係る届出の調査報告書」公表

7月時点で「300薬局以上」の67%が調剤基本料3-8に

Report

レポート 多職種連携

株式会社オストジャングループ ドラッグセイムス平和通薬局（北海道札幌市）

訪看と連携し住宅型老人ホーム100人の服薬を支援



東フーマシー株式会社（長崎県佐世保市） 佐世保市で 薬局として初の 認知症カフェ開設 サービスの質向上に向け研修強化、 7月からハイリスク薬研修をスタート

長崎県佐世保市を地盤とする東フーマシーは今、地域との関わりを深めています。県内で薬局を12店舗、化粧品店1店舗を運営する同社は、佐世保市民を対象とした「健康フェア」を毎年開催するほか、化粧品店を含めて各店で健康イベントを実施。さらに、薬局としては同市で初めて、認知症カフェを昨年11月にスタートさせました。

併せて薬局サービスの質向上を目指し、薬剤師研修の強化を進めています。4コースに分かれた集合研修のほか、今年7月からはハイリスク薬研修もスタート。服薬指導やトレーニングレポートの書き方などを薬剤師が学び始めています。

薬剤師・管理栄養士等が 地域住民との接点を拡充

今年4月、東フーマシーには5人の新入社員が加わりました。薬剤師が1人、管理栄養士2人、事務職2人の5人です。新しい仲間を迎えて、同社の管理栄養士は計5人になりました。

「医療・健康・美を通して、人と地域に幸せを届ける」ことを理念とする同社は、50人の薬剤師が「医療」を提供するとともに、5人の管理栄養士が「健康」を届け、ビューティーアドバイザーが「美」を提供する体制を整えています。各薬局・化粧品店が独自にイベントを開催することで、地域住民との接点を拡充するほか、年に1回、佐世保市民を対象とした「健康フェア」を開催しています。

今年の「健康フェア」は6月19日に開催、体組成計や骨密度計、肌診断器などの測定機器を用意し、薬剤師と管理栄養士、ビューティーアドバイザーが市民からの相談に応じました。この2年間、コロナ禍でイベントは見送ってききましたので、3年ぶり4回目の開催となり、今回は164人が来場しました。

地域との接点を広げる目的で、佐世保市内のふじわら薬局では、2021年11月から認知症カフェ「薬局カフェinふじわら」の運営も始めました。奇数月の第4金曜日に開催しているもので、最近では今年5月、患者さんやご家族など11人が参加しました。

現在、市内では6カ所で認知症カフェが開催されていますが、薬局が運営しているのは「薬局カフェinふじわら」だけ。地域包括支援センターの事業に協力する形で、行政との連携も深めています。



6月19日に開催した「健康フェア」には164人が来場した

かかりつけ機能と人材育成を強化

現在、同社が運営する薬局は12店舗。そのうち9薬局が在宅医療を実施、6薬局が地域支援体制加算を算定しています。東勇太郎社長は、同社の薬局運営の基本を「かかりつけ機能の発揮と人材育成の強化」と指摘し、次のように同社の考え方を明らかにします。

「誤りなく正確に調剤業務を行うことは、薬局としては最低限の使命です。それを担保するために、機械化できる部分は積極的に機器を導入してきました。その一方で、薬局のかかりつけ機能を強化するため、薬剤師等の教育研修も強化しています」



東勇太郎氏

同社では外部と連携し、座学の集合研修を実施しています。①新卒コース、②基礎薬学コース、③実践薬学コース、④臨床薬学コース——の4コースを用意、新入社員は新卒コースの履修が必須です。中途入社者はキャリアや本人の希望に応じて、受講してもらっています。集合研修だけでなくオンライン研修も実施、コミュニケーション力向上のプログラムや、薬局長には経営に関する研修も用意しています。

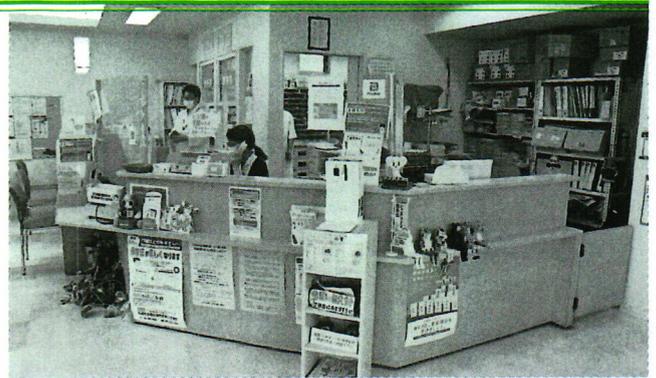
さらに、今年7月からはハイリスク薬に関するオンライン研修もスタートしました。全薬剤師を対象としたもので、ハイリスク薬の服薬指導の方法やトレーニングレポートの書き方等を学びます。

調剤統括部長の河野吉昭氏は「プログラムは全部で10講座。1講座を1カ月間、何回でも視聴できます」と説明。個々人が都合の良い時間帯に勉強できるように配慮したと明かし、全社の薬剤師が横一線で確実に研修を積み上げていく仕組みを作り上げました。

管理栄養士が地域に出向いた講話活動を積極展開

同社の管理栄養士は薬局に配属され、普段は医療事務を担いつつ、外来の栄養指導を行っています。処方元の医療機関から栄養指導を依頼されることもあり、幾つかの指導コースを用意しています。

しかしながら、外来で栄養指導できる住民・患者さ



佐世保市にある
おおの薬局の店内



管理栄養士が常駐する
おおの薬局ではフード
モデルを陳列し啓発し
ている

んの数は限られます。十分に管理栄養士の職能を発揮できないことから、同社では地域に出向いた講話活動をスタート、これまでに累計で180回余りを開催してきました。公民館や自治会、時には民生委員から依頼されることもあります。30分の講話を30テーマ用意し、その中から依頼内容によって選択しています。

こうした活動を続けている意図について、東社長は次のように説明します。

「薬局は保険財政という公の資産に支えられています。そのため何らかの形で恩返しをしなければならないと考えてきました。一人として食・栄養とは無関係ではられませんので、管理栄養士による講話活動を通して、地域の人々のお役に立ちたいと考えています」

地域貢献と共に、それを担っている社員に対しても、手厚い福利厚生を用意しています。一つ例を挙げれば、40歳と50歳になった社員を対象に、脳ドックを実施しているのです。一人につき数万円を要する脳ドックを行っている企業は稀ですが、これまでに延べ8人が受けています。会社の目線は、地域住民だけでなく一人一人の社員にも、等しく向けられています。

東ファーマシー株式会社 プロフィール

- 本社＝長崎県佐世保市瀬戸越4-1318-1
- 代表取締役社長＝東 勇太郎氏
- 薬局＝12店舗
- 化粧品店＝1店舗
- 社員数＝95人
- 薬剤師数＝50人
- 管理栄養士数＝5人